

2025/10/17 (予定) 機能追加

実地棚卸で商品の実数を増加させたら、出荷数量からマイナスしてほしい 他 45 件

Ver.250930

在庫管理

実地棚卸で商品の実数を増加させたら、出荷数量からマイナスしてほしい

実地棚卸で商品の実数を増加させて在庫が増えた場合は、今までは必ず棚卸入荷数量にプラスして計上されていました。今回から、設定によって、棚卸出荷数量からマイナスして計上できるようになりました。

〔仕入管理規程〕メニューの〔在庫管理〕ページの「実地棚卸による在庫増加の計上方法」で設定します。

設定すると、〔商品受払帳〕メニュー・〔在庫一覧表〕メニューの棚卸出荷数量・出荷数量から、実数分がマイナスして計上されます。

対応メニュー

- 〔法人情報 - 規程 - 仕入管理規程〕メニュー
- 〔在庫管理 - 入荷処理 - 入荷明細表〕メニュー
- 〔在庫管理 - 出荷処理 - 出荷明細表〕メニュー
- 〔在庫管理 - 棚卸処理 - 実地棚卸〕メニュー
- 〔在庫管理 - 管理帳票 - 在庫一覧表〕メニュー
- 〔在庫管理 - 管理帳票 - 商品受払帳〕メニュー

実地棚卸の入力項目に摘要を追加

〔実地棚卸〕メニューに、入力項目として摘要・摘要 2・摘要 3 が追加されました。

実地棚卸時の在庫調整の理由を摘要に記載しておくとし、後で〔実地棚卸〕メニューや〔商品受払帳〕メニューで確認できます。

摘要を入力するには、〔実地棚卸 - 条件設定〕画面の〔項目選択〕ページで、項目を追加します。

実地棚卸の画面で実数を変更すると、摘要を入力できます。

対応メニュー

- 〔在庫管理 - 棚卸処理 - 実地棚卸〕メニュー
- 〔在庫管理 - 管理帳票 - 商品受払帳〕メニュー

メインメニュー右上の  (データメンテナンス) から以下のメニュー

- 〔汎用データ作成 - 在庫管理 - 実地棚卸データ作成〕メニュー
- 〔汎用データ受入 - 在庫管理 - 実地棚卸データ受入〕メニュー

構成品振替伝票の完成区分や、倉庫振替伝票の伝票区分・振替区分ごとに、承認機能を使用するかの設定を追加

構成品振替伝票の完成区分や、倉庫振替伝票の伝票区分・振替区分ごとに、承認機能を使用するかどうかを設定できるようになりました。

例えば、完成区分「着手」の承認機能は使用し、完成区分「完成」では使用しないように設定できます。

その場合は、担当者が「着手」の構成品振替伝票を作成して上長が承認した後に、再申請をすることなく担当者が「完成」に変更できます。

設定するには、〔運用設定〕メニューの〔承認フロー〕ページの構成品振替伝票や倉庫振替伝票で「使用する」を選択します。

「〇〇区分ごとに承認を使用する」にチェックを付けたら、承認機能を使用したい区分にチェックを付けて、承認の設定をします。

対応メニュー

メインメニュー右上の（設定）から〔運用設定〕メニュー

〔在庫管理 - 振替処理 - 構成品振替 - 構成品振替伝票〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔在庫管理 - 振替処理 - 倉庫振替 - 倉庫振替伝票〕メニュー

オリジナルフォーム

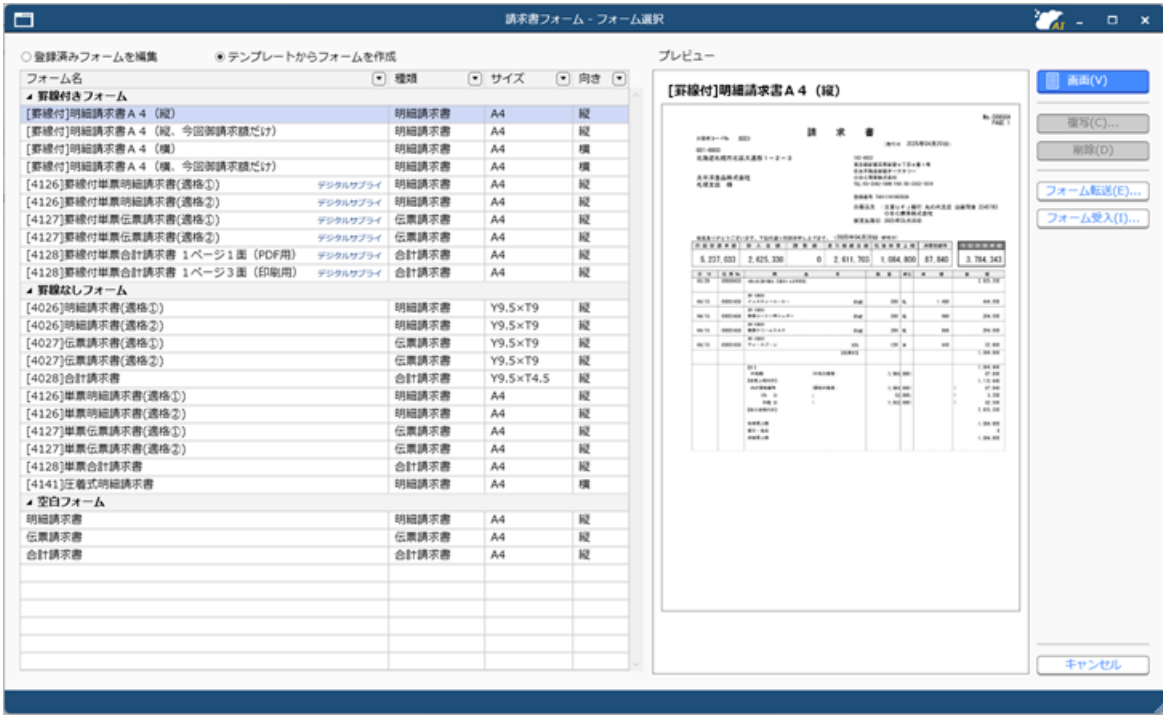
〔オリジナルフォーム〕メニューの画面デザインを変更

操作性向上のために、〔オリジナルフォーム〕メニューの画面デザインを変更しました。

〔フォーム選択〕画面

コード・フォーム名を一覧で表示し、プレビュー画面を大きくしました。

新規にフォーム作成する際に、テンプレートの違いが分かりやすく、選択しやすくなりました。



請求書フォーム - フォーム選択

○登録済みフォームを編集 ●テンプレートからフォームを作成

フォーム名	種類	サイズ	向き
■登録済みフォーム			
【登録付】明細請求書 A 4（縦）	明細請求書	A4	縦
【登録付】明細請求書 A 4（縦、今迄明細請求書だけ）	明細請求書	A4	縦
【登録付】明細請求書 A 4（横）	明細請求書	A4	横
【登録付】明細請求書 A 4（横、今迄明細請求書だけ）	明細請求書	A4	横
[4126]登録付単票明細請求書(選格①)	デジタルサプライ 明細請求書	A4	縦
[4126]登録付単票明細請求書(選格②)	デジタルサプライ 明細請求書	A4	縦
[4127]登録付単票伝票請求書(選格①)	デジタルサプライ 伝票請求書	A4	縦
[4127]登録付単票伝票請求書(選格②)	デジタルサプライ 伝票請求書	A4	縦
[4128]登録付単票合計請求書 1 ページ 1 面（PDF用）	デジタルサプライ 合計請求書	A4	縦
[4128]登録付単票合計請求書 1 ページ 3 面（印刷用）	デジタルサプライ 合計請求書	A4	縦
■登録なしフォーム			
[4026]明細請求書(選格①)	明細請求書	Y9.5×T9	縦
[4026]明細請求書(選格②)	明細請求書	Y9.5×T9	縦
[4027]伝票請求書(選格①)	伝票請求書	Y9.5×T9	縦
[4027]伝票請求書(選格②)	伝票請求書	Y9.5×T9	縦
[4028]合計請求書	合計請求書	Y9.5×T4.5	縦
[4126]単票明細請求書(選格①)	明細請求書	A4	縦
[4126]単票明細請求書(選格②)	明細請求書	A4	縦
[4127]単票伝票請求書(選格①)	伝票請求書	A4	縦
[4127]単票伝票請求書(選格②)	伝票請求書	A4	縦
[4128]単票合計請求書	合計請求書	A4	縦
[4141]圧着式明細請求書	明細請求書	A4	横
■空白フォーム			
明細請求書	明細請求書	A4	縦
伝票請求書	伝票請求書	A4	縦
合計請求書	合計請求書	A4	縦

プレビュー

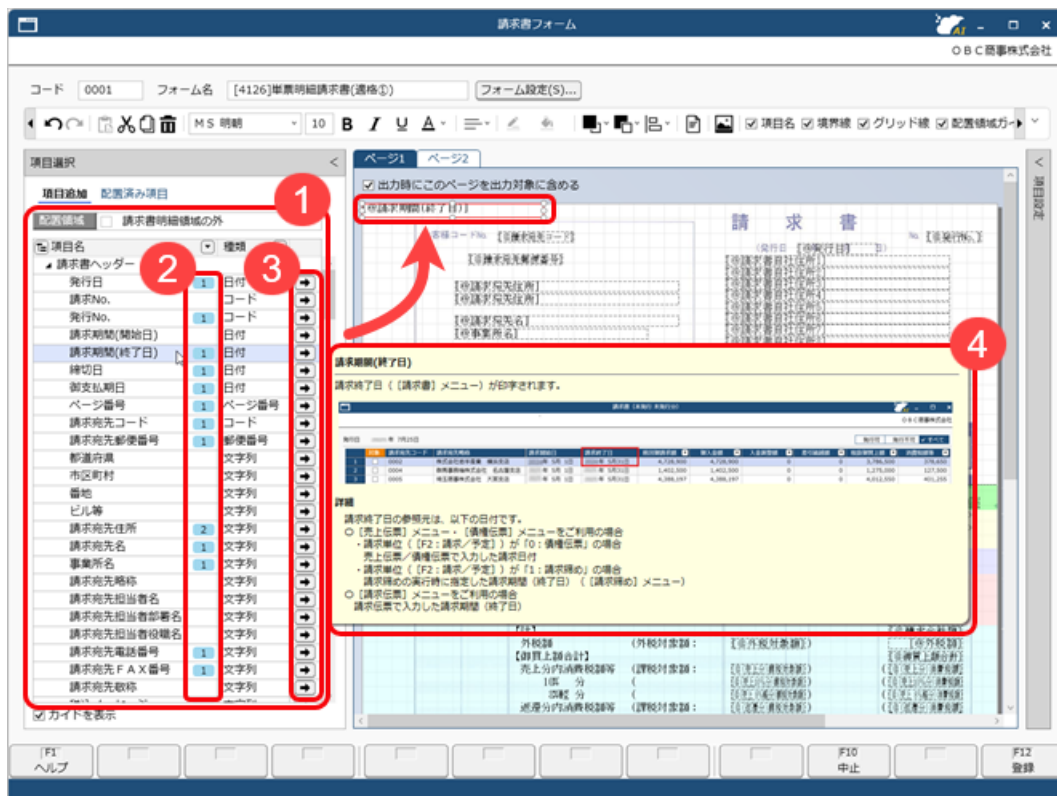
【登録付】明細請求書 A 4（縦）

プレビュー画面には、請求書の雛形が表示されています。右側には「書き出し(V)」、「保存(C)...」、「削除(D)」、「フォーム転送(E)...」、「フォーム受入(I)...」などのボタンがあります。

（画面は、『商奉行クラウド』 + 『奉行Edge 発行請求書DXクラウド』の画面です。）

編集画面

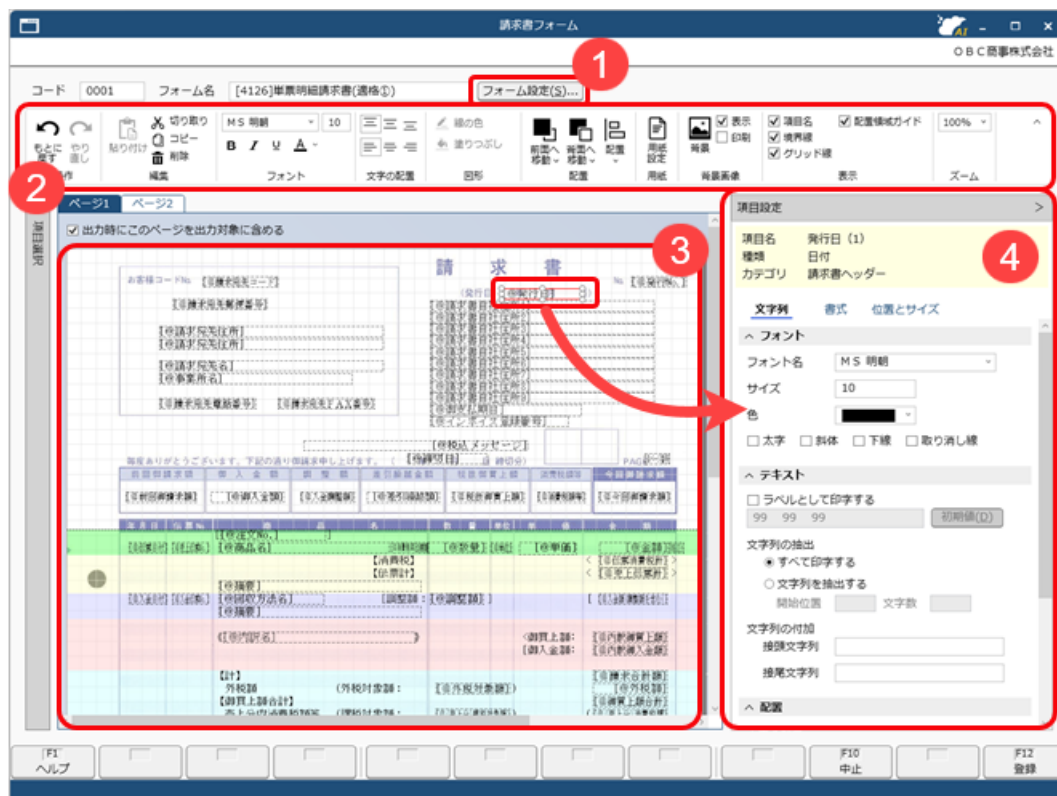
- 項目追加



(画面は、『商奉行クラウド』+『奉行Edge 発行請求書DXクラウド』の画面です。)

1. リストには、選択した領域に配置できる項目だけを表示するようにしました。
2. 配置済みの項目には、配置されている数を表示するようにしました。
3. [➡] ボタンで項目を追加できるようにしました。
4. リスト上で項目にマウスをあてた際に、印字内容の詳細を表示するようにしました。

- フォーム設定、項目設定



(画面は、『商奉行クラウド』+『奉行Edge 発行請求書DXクラウド』の画面です。)

1. フォームの基本設定は、画面上部に移動しました。
変更前 [F7: 基本設定] 変更後 [フォーム設定] ボタン
2. リボンでできる機能が増えました。
3. 配置済みの項目を、項目名で表示するようにしました。

4. 画面の右側で、選択した項目に関するすべての設定をできるようにしました。

変更前 [F6 : 項目設定] **変更後** 画面右側の項目設定

対応メニュー

メインメニュー右上の  (設定) から [オリジナルフォーム] メニュー

紙に印刷している帳票を簡単に電子化したい

発行請求書DX

フォームに背景画像を付けてPDFを発行できるようになりました。

編集画面で背景の「印刷」にチェックを付けると、背景画像を付けてPDFを発行できるので、印刷用のフォームをそのまま利用して電子化できます。



メインメニュー右上の  (設定) から以下のメニュー
[オリジナルフォーム - 納品書フォーム] メニュー
[オリジナルフォーム - 注文書フォーム] メニュー
[オリジナルフォーム - 支払明細書フォーム] メニュー

対応メニュー

メインメニュー右上の  (設定) から [オリジナルフォーム] メニュー

法人情報

差出名の最大登録件数を 999 件に変更

奉行V ERP

差出名を 999 件まで登録できるようになりました。

対応メニュー

[法人情報 - 法人情報 - 差出名] メニュー

プロジェクト区分・商品区分・仕入先区分の最大登録件数を 9,999 件に変更

奉行V ERP

プロジェクト区分 1 ～ 10 ・仕入先区分 1 ～ 10 ・商品区分 1 ～ 10 ・を 9,999 件まで登録できるようになりました。

対応メニュー

[法人情報 - プロジェクト - プロジェクト区分] メニュー (『債務奉行クラウド』か『債権奉行クラウド』をご利用の場合)

[取引先管理 - 仕入先 - 仕入先区分] メニュー

[商品管理 - 商品 - 商品区分] メニュー

担当者の最大登録件数を 9,999 件に変更

奉行V ERP

担当者を 9,999 件まで登録できるようになりました。

対応メニュー

[法人情報 - 担当者 - 担当者] メニュー

倉庫の最大登録件数を 9,999 件に変更

奉行V ERP

倉庫を 9,999 件まで登録できるようになりました。

対応メニュー

[法人情報 - 倉庫 - 倉庫] メニュー

取引先管理

統合マスター管理の機能を強化

奉行 V ERP

- 統合取引先の初回統合時の基準になる『奉行クラウド』（優先順位）を設定できるようになりました。
これまでは『勘定奉行クラウド』が基準でしたが、統合管理できる他の『奉行クラウド』も基準にできます。
詳細は、目的から探す「[取引先の統合マスター管理を開始する](#)」をご参照ください。
- 統合管理されている場合は、〔取引先（得意先／仕入先）〕メニューの画面上に「統合管理」と表示され、統合管理されていることが分かりやすくなりました。
また、まだ反映されていない内容がある場合は、「反映中」と表示されるようになりました。



- 外部サービスの更新内容が各『奉行クラウド』への反映に失敗した場合、メインメニュー左上にメッセージが表示され、気づきやすくなりました。
- 外部サービスとの連携を強化しました。
 - 統合取引先で保持していない得意先／仕入先の項目（得意先や仕入先の担当者メールアドレスなど）も、〔外部マスター管理[取引先]〕メニューで関連付けして連携できるようになりました。
詳細は、目的から探す「[外部マスター\[取引先\]と統合取引先を連携する](#)」をご参照ください。
 - 外部サービスと『奉行クラウド』で値が異なっても、変換して連携できるようになりました。
詳細は、目的から探す「[外部マスター\[取引先\]と統合取引先を連携する](#)」をご参照ください。
 - 外部サービスのコードと『奉行クラウド』で管理するコードが異なる場合に、外部サービスのコードは『奉行クラウド』に反映させずに、同一マスターとして連携できるようになりました。
詳細は、メニューから探す「[外部マスター管理\[取引先\]](#)」をご参照ください。

統合マスター管理の詳細は、目的から探す「[統合マスター管理とは](#)」をご参照ください。

対応メニュー

〔取引先管理 - 仕入先 - 仕入先〕メニュー

メインメニュー右上の（統合マスター管理）から〔取引先 - 統合取引先〕メニュー

メインメニュー右上の（統合マスター管理）から〔取引先 - 外部マスター管理[取引先]〕メニュー

メインメニュー右上の（統合マスター管理）から〔統合マスター設定〕メニュー

商品管理

単価を誤って削除しないようにしたい

〔単価〕メニューの〔条件設定〕画面の〔基本〕ページにあった、単価種類の〔削除〕ボタンがなくなりました。
単価種類を削除する場合は、以下の手順が必要となり、誤って登録済みの単価を削除してしまうのを防げます。

- 〔単価 - 条件設定〕画面の〔基本〕ページで単価種類を選択し、〔画面〕ボタンをクリックします。
- 単価の入力画面で〔F7：削除〕を押します。
- 削除対象の選択画面が表示されるので、「単価種類を削除する」を選択します。
（「選択行を削除する」を選択すると、行を選択して削除できます。）
- 削除モードになるので、〔F12：登録〕を押します。
- 警告メッセージが表示されるので〔OK〕ボタンをクリックします。

対応メニュー

〔商品管理 - 価格 - 単価〕メニュー

伝票

伝票の入力中に、プロジェクト・部門など、仕入先・商品以外のマスターも登録したい

すべてのマスターについて、伝票の入力中にメニューへジャンプしてマスターを登録できるようになりました。マスターのメニューを別で開く必要がなくなり、伝票の入力がスムーズになります。

- 各伝票メニューで、マスターの入力欄にカーソルを入れて〔F9：〇〇（マスターの名称）〕を押す
- 各メニューで、マスターの検索画面の左下にある「〔〇〇〕メニューにジャンプ」をクリックする

対応メニュー

〔仕入管理 - 発注処理 - 発注伝票〕メニュー
〔仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票〕メニュー
〔在庫管理 - 入荷処理 - 入荷伝票〕メニュー
〔在庫管理 - 出荷処理 - 出荷伝票〕メニュー
〔在庫管理 - 振替処理 - 構成品振替 - 構成品振替伝票〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）
〔在庫管理 - 振替処理 - 倉庫振替 - 倉庫振替伝票〕メニュー
〔在庫管理 - 振替処理 - 荷姿振替 - 荷姿振替伝票〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）
〔在庫管理 - 振替処理 - 他勘定振替 - 他勘定振替伝票〕メニュー
〔在庫管理 - 振替処理 - 預り品振替 - 預り品振替伝票〕メニュー
〔債務管理 - 精算処理 - 債務伝票〕メニュー
〔債務管理 - 支払処理 - 支払伝票〕メニュー
〔債務管理 - 開始残高 - 債務残高〕メニュー
〔債務管理 - 開始残高 - 前払金残高〕メニュー
他、マスターの検索画面を開けるメニュー

仕入先の住所やメモなどを確認しながら、伝票を入力したい

伝票の画面に、仕入先の情報（〔仕入先〕メニューの〔基本〕ページの【基本】・〔ご担当〕ページ・〔区分〕ページや、精算履歴）を表示できるようになりました。そのまま登録内容の更新もできます。表示するには、各伝票メニューで、仕入先を入力して〔F8：〇〇先情報〕を押します。

これに伴い、『債務奉行iクラウド』の『Bシステム』以上または『債務奉行V ERPクラウド』もご利用の場合は、今までの〔F8：購入限度情報〕の名称が、〔F8：〇〇先情報〕に変更されました。購入限度情報は、今後は〔F8：〇〇先情報〕から確認できます。

対応メニュー

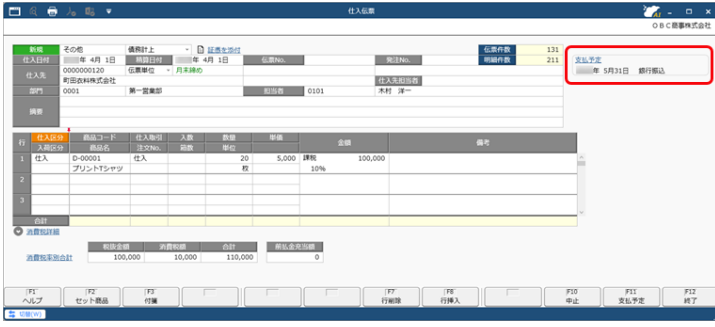
〔仕入管理 - 発注処理 - 発注伝票〕メニュー
〔仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票〕メニュー
〔債務管理 - 精算処理 - 債務伝票〕メニュー
〔債務管理 - 支払処理 - 支払情報〕メニュー（「支払情報の入力形式」が伝票形式の場合）
〔債務管理 - 支払処理 - 支払伝票〕メニュー
〔債務管理 - 開始残高 - 債務残高〕メニュー

伝票画面右上の「支払予定」の表示位置を変更し、表示内容に振込情報・口座情報を追加

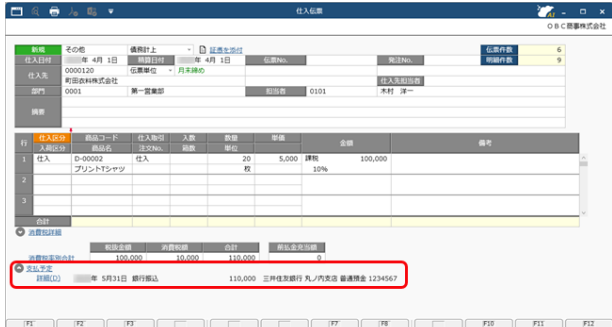
支払予定確定単位が「0：債務伝票」の場合に、伝票画面の右上に表示されていた「支払予定」が、左下に表示されるようになりました。

「F11：支払予定」を押した後の支払予定額や振込情報も、「支払予定」で確認できます。
また、「支払予定」の「詳細」をクリックすると、「F11：支払予定」を押した後と同じ画面を表示できます。

変更前



変更後



- 「支払予定」が表示されない支払伝票・支払情報でも、以下のように口座情報などが表示されます。
- 支払伝票では、画面左下に「口座情報」が表示されるようになり、「F11：振込情報」を押した後の、振込元口座・振込先口座・手数料負担を確認できます。
 - 支払情報（「支払情報の入力形式」が伝票形式の場合）では、画面下の振込元口座・振込先口座に口座名義力ナも表示されるようになります。

対応メニュー

- 「仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票」メニュー
- 「債務管理 - 精算処理 - 債務伝票」メニュー
- 「債務管理 - 支払処理 - 支払情報」メニュー（「支払情報の入力形式」が伝票形式の場合）
- 「債務管理 - 支払処理 - 支払伝票」メニュー
- 「債務管理 - 開始残高 - 債務残高」メニュー

仕入管理

仕入伝票で、債務伝票を作成している伝票を絞り込むための検索項目を追加

「仕入伝票」メニューの「検索条件設定」画面の「基本」ページに、「運用方式 - 債務伝票」項目が追加されました。
債務伝票を作成している仕入伝票だけを検索できます。

対応メニュー

- 「仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票」メニュー

明細表で、摘要を列で出力せずに伝票計に出力したい

明細表で、画面や印刷時の伝票計の行に、伝票の摘要・摘要2・摘要3を出力できるようになりました。
今まで列で摘要・摘要2・摘要3を出力していた場合は、代わりに伝票計に出力して列数を減らすことで、印刷ページ数を減らせます。

発注・仕入・入荷・出荷・預り品振替の明細表では、スポット得意（仕入）先名も出力できます。

伝票計に出力するには、「条件設定」画面の「基本」ページの集計軸項目で「〇〇伝票」を選択し、伝票計項目の出力したい項目にチェックを付けます。

対応メニュー

- 「仕入管理 - 発注処理 - 発注明細表」メニュー
- 「仕入管理 - 仕入処理 - 仕入明細表」メニュー
- 「在庫管理 - 入荷処理 - 入荷明細表」メニュー
- 「在庫管理 - 出荷処理 - 出荷明細表」メニュー

〔在庫管理 - 振替処理 - 構成品振替 - 構成品振替明細表〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔在庫管理 - 振替処理 - 倉庫振替 - 倉庫振替明細表〕メニュー

〔在庫管理 - 振替処理 - 荷姿振替 - 荷姿振替明細表〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔在庫管理 - 振替処理 - 他勘定振替 - 他勘定振替明細表〕メニュー

〔在庫管理 - 振替処理 - 預り品振替 - 預り品振替明細表〕メニュー

集計表からジャンプした先の明細表で、「伝票計」が表示されてほしい

集計表の〔条件設定〕画面の〔基本〕ページにある集計軸項目に、「〇〇伝票」を追加しました。
この項目を選択して集計表を表示してから明細表へジャンプすると、明細表でも伝票計が表示されます。
受け取った支払明細書などを集計表・明細表で確認する際に、金額を確認しやすくなります。

対応メニュー

〔仕入管理 - 管理帳票 - 発注集計表〕メニュー

〔仕入管理 - 管理帳票 - 仕入集計表〕メニュー

仕入先元帳で、前払金充当で 0 円になった債務の消込状況に「支払済」と表示させたい

〔仕入先元帳〕メニューの消込状況で、前払金の充当で残高が 0 円になった債務についても、「支払済」と表示されるようになりました。

前払金充当した分も考慮されるので、実際に支払済みの債務はどれかが、よりわかりやすくなります。

消込状況は、〔条件設定〕画面の〔詳細〕ページで「消込状況を表示する」にチェックを付けた場合に表示されます。

対応メニュー

〔仕入管理 - 管理帳票 - 仕入先元帳〕メニュー

税率別に仕入債務残高一覧表を集計した際に、「消費税率なし」「前払金／非連結」の行を非表示にしたい

集計軸に「消費税率」を指定した際に、「消費税率なし／前払金／非連結の行は出力しない」のチェックを付けます。
税率の行だけを出力できるようになります。

対応メニュー

〔仕入管理 - 管理帳票 - 仕入債務残高一覧表〕メニュー

仕入債務残高一覧表の銀行振込の金額に、手数料を含めたくない

銀行振込・電子記録債権・手形の出力項目に、各手数料等を加味するかを設定できるようになりました。

〔条件設定〕画面の〔詳細〕ページの「支払種別ごとの各項目に手数料等を加味する」で設定します。

また、〔出力〕ページで「支払済額±手数料計」の出力項目を選択することもできます。

詳細は、メニューから探す「[仕入債務残高一覧表](#)」をご参照ください。

対応メニュー

〔仕入管理 - 管理帳票 - 仕入債務残高一覧表〕メニュー

債務管理

前払金充当で債務額が 0 円になった債務伝票は、支払消込の対象外にしたい

債務額が 0 円の仕入伝票・債務伝票は、伝票の登録時に自動で支払消込の対象外にできるようになりました。

前払金充当などで伝票の債務額が 0 円になった場合に、伝票を登録後に〔支払消込〕メニューで別途支払消込の対象外にする手間が省けます。

〔F5：操作設定〕の〔運用〕ページの「債務額が0円時の支払消込対象確認」で設定します。

都度変更するには、〔F2：精算／予定〕を押して「支払消込」を「0：対象外」にします。

対応メニュー

〔仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票〕メニュー

〔債務管理 - 精算処理 - 債務伝票〕メニュー

伝票メニューでも消込対象外を解除できるように対応

支払消込の対象外になっている伝票で〔F9：修正〕を押した後に表示されるメッセージで〔OK〕ボタンをクリックすると、消込対象外が解除され、そのまま伝票を修正できるようになりました。

〔支払消込〕メニューを起動する手間なく対象外を解除でき、便利です。

対応メニュー

〔仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票〕メニュー

〔債務管理 - 精算処理 - 債務伝票〕メニュー

〔債務管理 - 開始残高 - 債務残高〕メニュー

精算終了日を、支払明細書の発行日にしたい

〔支払明細書 - 条件設定〕画面で、発行日に「精算終了日」（精算日付の終了日）を選択できるようになりました。また、出力項目に「発行日」が追加されました。

対応メニュー

〔債務管理 - 精算処理 - 支払明細書〕メニュー

支払情報の検索条件に「処理状況」を追加

「支払情報の入力形式」が「リスト形式」の場合に、〔支払情報 - 条件設定〕画面の〔集計条件〕ページにある支払情報の検索条件に「処理状況」が追加されました。

支払伝票が未作成の支払情報を絞り込む時に、これまでの検索条件「処理済額が 0 と等しい」ではなく、「処理状況が未処理と等しい」にすることで、より正確に絞り込めるようになります。

対応メニュー

〔債務管理 - 支払処理 - 支払情報〕メニュー（「支払情報の入力形式」が「リスト形式」の場合）

取引している仕入先と精算先が異なる（親子精算）場合に、出金先の検索で精算先（親）だけを表示したい

〔支払情報〕メニュー・〔支払伝票〕メニューの〔出金先検索〕画面で、以下のように精算先や出金先で絞り込めるようになりました。

コード	出金先名	事業所名	インデックス
0001	太平洋販売株式会社	札幌支店	タイハイヨウハンパ
0002	株式会社岩手産業	横浜支店	イワテサンギョウ
0003	株式会社茨城電機	水戸支店	イバラキデンキ
0004	群馬事務協株式会社	名古屋支店	グンマジウムキ
0005	埼玉事務株式会社	大宮支店	サイタマショウジ
0006	株式会社千葉デンキ	札幌支店	チバデンキ
0007	東京事務協販売株式会社	仙台支店	トウキョウジウムキハ
0008	神奈川物産株式会社	仙台支店	カナガワブッサン

- 「精算先」をクリックすると、〔仕入先〕メニューの〔精算〕ページの精算先で指定されている仕入先だけが表示されます。
- 「出金先」をクリックすると、〔取引先グループ〕メニューで主出金先に設定した仕入先だけが表示されます（『債務奉行クラウド』をご利用の場合）。

例えば、仕入は支店ごとに計上し、支払明細書は本社に発行する場合に、出金先の検索対象として精算先の本社だけを表示すれば、誤って出金先に支店を入力するミスを防げます。

対応メニュー

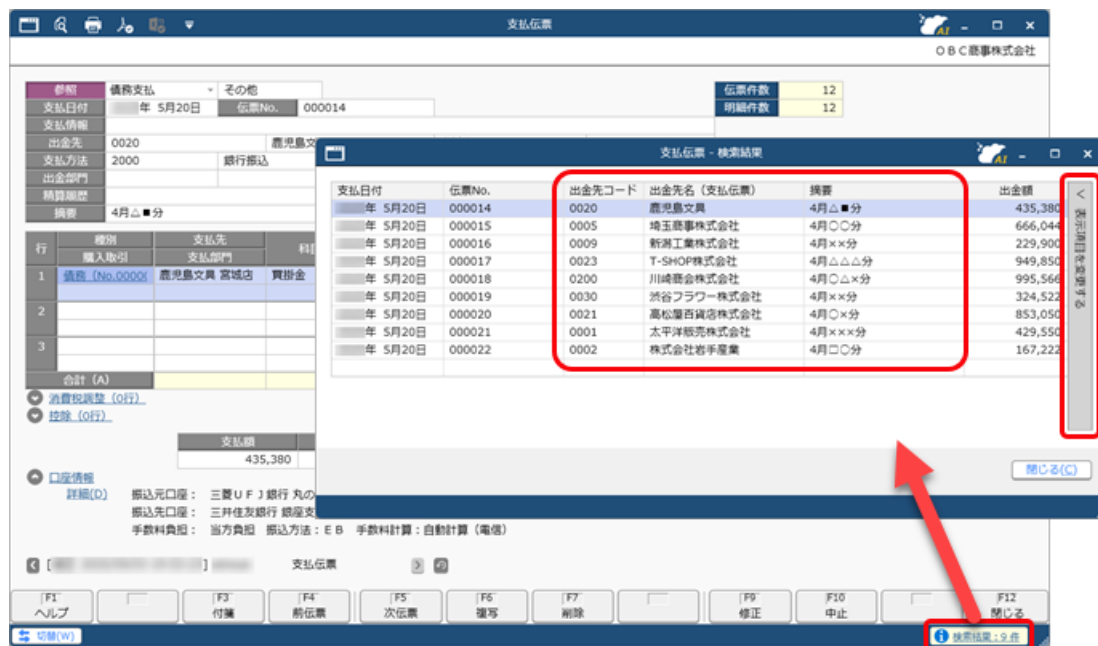
〔債務管理 - 支払処理 - 支払情報〕メニュー
〔債務管理 - 支払処理 - 支払伝票〕メニュー

支払伝票の検索結果画面で、出金先も表示してほしい

伝票メニューの〔F8：伝票検索〕から検索後の〔検索結果〕画面で、伝票の出金先名も表示されるようになりました。
〔検索結果〕画面で、出金先と出金額を見ながら伝票を確認できるようになります。

あわせて、〔検索結果〕画面の表示項目を選択できるようになりました。

〔検索条件設定〕画面の〔出力項目〕ページや、〔検索結果〕画面右側の「表示項目を変更する」から選択します。



対応メニュー

〔在庫管理 - 入荷処理 - 入荷伝票〕メニュー
〔在庫管理 - 出荷処理 - 出荷伝票〕メニュー
〔在庫管理 - 振替処理 - 構成品振替 - 構成品振替伝票〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）
〔在庫管理 - 振替処理 - 倉庫振替 - 倉庫振替伝票〕メニュー
〔在庫管理 - 振替処理 - 荷姿振替 - 荷姿振替伝票〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）
〔在庫管理 - 振替処理 - 他勘定振替 - 他勘定振替伝票〕メニュー
〔在庫管理 - 振替処理 - 預り品振替 - 預り品振替伝票〕メニュー
〔債務管理 - 精算処理 - 債務伝票〕メニュー
〔債務管理 - 支払処理 - 支払情報〕メニュー（「支払情報の入力形式」が伝票形式の場合）
〔債務管理 - 支払処理 - 支払伝票〕メニュー
〔債務管理 - 開始残高 - 債務残高〕メニュー
〔債務管理 - 開始残高 - 前払金残高〕メニュー

仕訳連携

伝票の登録と同時に、自動で『勘定奉行クラウド』へ仕訳連携する設定を追加

伝票の登録後に、ダッシュボードや〔〇〇仕訳連携〕メニューなどから仕訳連携を実行する手順を省略できるようになりました。

伝票の承認機能を使用している場合は、承認と同時に仕訳連携されます。

〔仕訳伝票初期設定〕メニューの〔運用方式〕ページの「仕訳連携の事前確認」で「しない」を選択します。

詳細は、以下をご参照ください。

- 『勘定奉行クラウド』と連携する場合は、目的から探す「[仕訳伝票を『勘定奉行クラウド』へ連携する](#)」

- 『勘定奉行Smart/勘定奉行11』と連携する場合は、目的から探す「[仕訳伝票を『勘定奉行Smart/勘定奉行11』へ連携する](#)」

対応メニュー

債務伝票・支払伝票・他勘定振替伝票・棚卸仕訳のもとになるデータが作成されるすべてのメニュー
〔債務管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 仕訳伝票初期設定〕メニュー

『勘定奉行クラウド』に仕訳伝票を作成済みの伝票は、修正・削除ができないようにしたい

勘定奉行

『勘定奉行クラウド』に仕訳伝票を作成済みの『蔵奉行クラウド』の伝票について、修正・削除を許可するかを設定できるようにしました。

許可しない設定にすると、『蔵奉行クラウド』の伝票を修正・削除する場合は、『勘定奉行クラウド』の仕訳伝票を削除する必要があります。

これにより、『勘定奉行クラウド』と『蔵奉行クラウド』の伝票の整合性を常に保つことができます。

〔仕訳伝票初期設定〕メニューの〔運用方式〕ページの「仕訳作成後の取引伝票の修正・削除」で設定します。
設定ごとの修正方法は、目的から探す「[仕訳伝票を作成済みの伝票を修正する場合](#)」をご参照ください。

対応メニュー

債務伝票・支払伝票・他勘定振替伝票・棚卸仕訳のもとになるデータが修正・削除されるすべてのメニュー
〔在庫管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票〕の各仕訳連携メニュー
〔在庫管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 仕訳伝票初期設定〕メニュー
〔債務管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票〕の各仕訳連携メニュー
〔債務管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 仕訳伝票初期設定〕メニュー

仕訳連携時のメッセージで、連携・対象外のどちらの処理を実行するのかがわかるようにしてほしい

仕訳連携で、連携対象や対象外の伝票を選択して実行した際に表示される確認メッセージに、連携対象と対象外の件数が表示されるようになりました。

仕訳連携の実行前に、連携と対象外の処理をする件数がわかるようになります。

また、これに伴い設定名の見直しをしました。

伝票メニューの〔F6：仕訳作成〕の名称を〔F6：仕訳連携〕に変更しています。

対応メニュー

ダッシュボード「本日までの仕訳未作成」カードの各伝票
〔在庫管理 - 振替処理 - 他勘定振替 - 他勘定振替伝票〕メニュー
〔在庫管理 - 棚卸処理 - 在庫締め〕メニュー
〔在庫管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票〕の各仕訳連携メニュー
〔債務管理 - 精算処理 - 債務伝票〕メニュー
〔債務管理 - 支払処理 - 支払伝票〕メニュー
〔債務管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票〕の各仕訳連携メニュー

FBデータを確定した伝票だけを仕訳連携したい

〔支払仕訳連携〕メニューでの仕訳連携時に、〔銀行振込〕メニューで銀行振込データを確定済みの支払伝票のデータだけを絞り込めるようになりました。

FBデータを確定した支払伝票だけを仕訳連携でき、未確定の支払伝票を誤って仕訳連携してしまうことを防げます。

絞り込むには、〔支払仕訳連携 - 条件設定〕画面の〔詳細〕ページで、「銀行振込データが確定済みのもので絞り込む」チェックを付けます。

対応メニュー

〔債務管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 支払仕訳連携〕メニュー

伝票画面で、仕訳伝票の作成状況を確認したい

勘定奉行

伝票画面の上部に、『勘定奉行クラウド』への仕訳伝票の転記状況（連携・作成状況）がアイコンで表示されるようになりました。

仕訳伝票をどこまで作成したかが、伝票画面上でわかるようになります。



アイコンは、未転記・転記中・転記済のいずれかが表示されます。

対応メニュー

〔債務管理 - 精算処理 - 債務伝票〕メニュー

〔債務管理 - 支払処理 - 支払伝票〕メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から以下のメニュー

〔汎用データ作成 - 債務管理 - 債務伝票データ作成〕メニュー

〔汎用データ作成 - 債務管理 - 支払伝票データ作成〕メニュー

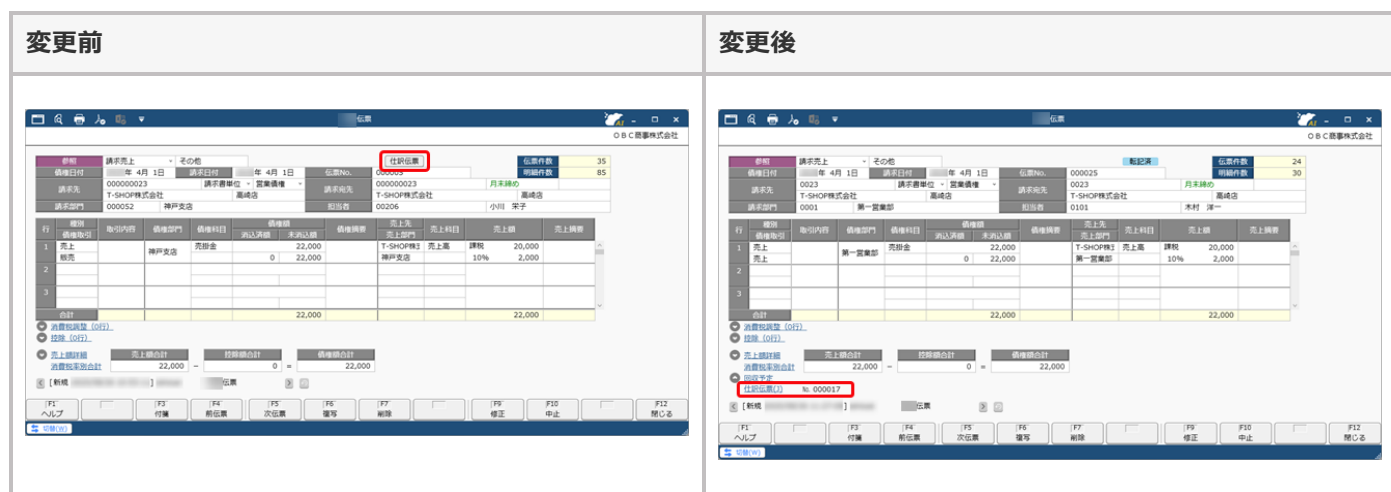
伝票画面に、仕訳伝票No.を表示

勘定奉行

『勘定奉行クラウド』で仕訳伝票を作成済みの伝票について、『蔵奉行クラウド』の伝票画面の左下に仕訳伝票No.が表示されるようになりました。

仕訳伝票にジャンプせずに、仕訳伝票No.を確認できるようになります。

また、伝票画面の上部の〔仕訳伝票〕ボタンは「仕訳伝票」リンクに変わり、伝票画面の左下に表示されるようになりました。



対応メニュー

〔債務管理 - 精算処理 - 債務伝票〕メニュー

〔債務管理 - 支払処理 - 支払伝票〕メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から以下のメニュー

〔汎用データ作成 - 債務管理 - 債務伝票データ作成〕メニュー

〔汎用データ作成 - 債務管理 - 支払伝票データ作成〕メニュー

仕訳伝票作成の対象外にした伝票を検索したい

〔〇〇仕訳連携〕メニューや各伝票メニューで、仕訳伝票の作成の対象外にした伝票を絞り込めるようになりました。

対象外の伝票だけを確認したり、対象外を取消する際に便利です。

絞り込むには、各メニューの〔検索条件設定〕画面で、検索項目の〔作成対象〕または〔仕訳作成対象〕の〔仕訳伝票〕を選択し、指定方法を「等しい」、絞り込み内容を「0：対象外」にします。

また、これに関連して、〔作成対象〕または〔仕訳作成対象〕に〔証憑連携〕の検索項目も追加されました。

仕訳伝票へ証憑を連携している伝票を絞り込めます。

対応メニュー

〔仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票〕メニュー

〔在庫管理 - 振替処理 - 他勘定振替 - 他勘定振替伝票〕メニュー

〔在庫管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票〕の各仕訳連携メニュー

奉行AI

「奉行AIチャット」を起動したメニューに関連する「よくある質問」を表示する機能を追加

メニュー画面から「奉行AIチャット」を起動すると、そのメニューに関連する「よくある質問」を最大 5 件表示できるようになりました（すべてのメニューではありません）。質問内容が一致する場合は、クリックすることでスムーズに質問できます。



（『勘定奉行クラウド』の画像です。）

補足

各メニューに関連する「よくある質問」は随時更新します。

発行請求書DXクラウド

発行請求書DX

配信前に、帳票の社内チェック・確定処理をしたい

帳票を発行後、社内でチェックし、確定した帳票だけを配信できるようになりました。〔帳票配信〕画面で確定処理を実行でき、検索項目・出力項目に追加された「確定ステータス」で、確定状況を確認できます。

メインメニューで「債権奉行」を選択後、〔運用設定〕メニューで「確定ステータス」を「使用する」に設定します。

対応メニュー

- 「確定ステータス」の設定
メインメニューで「債権奉行」を選択後、メインメニュー右上の⚙️（設定）から〔運用設定〕メニュー
- 帳票配信／納品書配信
（仕入先）ダッシュボード「帳票配信状況」カードの〔帳票配信〕画面
（得意先）ダッシュボード「納品書配信状況」カードの〔納品書配信〕画面
- 仕入先の確定対象の帳票
注文書（〔仕入管理 - 発注処理 - 発注伝票〕メニュー）

支払明細書（「債務管理 - 精算処理 - 支払明細書」メニュー）

任意ファイル（ダッシュボード「帳票配信状況」カードの「任意ファイル」）

- 得意先の確定対象の帳票
納品書（「在庫管理 - 出荷処理 - 出荷伝票」メニュー／「在庫管理 - 振替処理 - 預り品振替 - 預り品振替伝票」メニュー）

同じ配信先に複数の帳票を同時に配信する際、帳票が異なる場合でも配信メールを 1 通にまとめたい

同じ配信先に、配信設定・配信日時が同じ帳票を複数配信する場合に、配信メールを 1 通にまとめて配信できますが、帳票が異なる場合でも 1 通にまとめて配信できるようになりました。

まとめる場合は、【配信設定】画面の【○○配信】ページで、「まとめて配信する帳票」に帳票を選択します。

対応メニュー

仕入先

ダッシュボード「帳票配信状況」カードの （配信設定）

【帳票配信】画面で、まとめて配信するメールの単位で確認したい

【帳票配信】画面で、まとめて配信するメールの単位がわかりやすくなりました。

【帳票配信 - 条件設定】画面の【出力順】ページで、「配信先コード順」を選択した後、をクリックして一番上に移動すると、【帳票配信】画面で 1 メールごとに区切り線が引かれます。

また、【帳票配信】画面で、出力項目に「まとめて配信する帳票」が追加され、まとめて配信する帳票を確認できるようになりました。

対応メニュー

- 仕入先
ダッシュボード「帳票配信状況」カードの【帳票配信】画面
- 得意先
ダッシュボード「納品書配信状況」カードの【納品書配信】画面

添付ファイルのサイズや添付可能数を変更

【帳票配信】画面で、帳票と一緒に配信する添付ファイルのサイズや添付可能数を変更されました。

- メールの添付ファイルの上限サイズが 2 MB から 20 MB に変更されました。
メールに添付できる帳票と添付ファイルの上限サイズは、今まで通り合計で 20 MB です。
- 添付できるファイルの数が最大 1 つから 5 つに変更されました。
【帳票配信】画面の出力項目にも添付ファイル 2 ～ 5 が追加されました。

対応メニュー

- 仕入先
ダッシュボード「帳票配信状況」カードの【帳票配信】画面
- 得意先
ダッシュボード「納品書配信状況」カードの【納品書配信】画面

添付ファイルの自動添付機能の手順を変更

【帳票配信 - 条件設定】画面の【項目選択】ページで、ファイルの自動添付からファイルの保存場所などを指定していましたが、【添付ファイル】ページの添付ファイルから設定するようになりました。

対応メニュー

- 仕入先
ダッシュボード「帳票配信状況」カードの【帳票配信】画面
- 得意先
ダッシュボード「納品書配信状況」カードの【納品書配信】画面

すべての配信先に添付ファイルを一括添付可能

〔帳票配信 - 条件設定〕画面の〔添付ファイル〕ページで、「1つのファイルをすべての配信先に添付する」を選択し、添付ファイルを指定します。

同じ配信先に複数の帳票を同時に配信する際に配信メールをまとめている場合は、メール配信の単位で添付できます。

対応メニュー

- 仕入先
ダッシュボード「帳票配信状況」カードの〔帳票配信〕画面
- 得意先
ダッシュボード「納品書配信状況」カードの〔納品書配信〕画面

帳票配信のメール件名／本文に配信日を記載したい

〔配信設定〕画面の【メール件名／本文】の差込項目から、「配信日（年月日）」を選択します。

- 差込項目「配信帳票情報」は、「配信帳票情報（発行No.・発行日・帳票ファイル名）」に名称変更されました。
- 以下の差込項目が追加されました。
 - 「配信帳票情報（発行No.・帳票ファイル名）」（対象は〔〇〇配信〕ページ（〔確認催促配信〕ページを除く））
 - 「配信帳票情報（発行No.・配信日・帳票ファイル名）」（対象は〔確認催促配信〕ページ）

対応メニュー

- 仕入先
ダッシュボード「帳票配信状況」カードの⚙（配信設定）
- 得意先
メインメニューで「債権奉行」を選択して、ダッシュボード「帳票配信状況」カードの⚙（配信設定）

〔帳票配信〕画面の〔F6：詳細〕ファンクションキーの名称を〔F6：帳票〕に変更

変更前	変更後
〔F6：詳細〕	〔F6：帳票〕

対応メニュー

- 仕入先
ダッシュボード「帳票配信状況」カードの〔帳票配信〕画面
- 得意先
ダッシュボード「納品書配信状況」カードの〔納品書配信〕画面

その他

汎用で受け入れるファイルの上限サイズを 2 MBから 20 MBに変更

汎用データで受け入れられるファイルの上限サイズが 20 MBになりました。
上限サイズが 30 MBに設定されているデータについては、今回の変更の対象外です。
詳細は、よくある質問「[スペック](#)」をご参照ください。

対応メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から〔汎用データ受入〕メニューの各メニュー

汎用データを作成する際に、個人で利用できるパターンの作成に対応

〔支払予定表〕メニューなどの管理資料に加え、パターンを作成できる〔汎用データ作成〕メニューの各メニューでも、個人で利用できるパターンを作成できるようになりました。
パターンを作成する際に「個人利用」にチェックを付けると、個人で利用するパターンとして条件設定を保存できるので、他の利用者に変更・削除されずに毎回同じ条件で汎用データを作成できます。

対応メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から以下のメニュー

〔汎用データ作成 - 法人情報 - プロジェクトデータ作成〕メニュー

〔汎用データ作成 - 取引先管理 - 仕入先データ作成〕メニュー

〔汎用データ作成 - 取引先管理 - 得意先データ作成〕メニュー

〔汎用データ作成 - 商品管理 - 商品データ作成〕メニュー

〔汎用データ作成 - 商品管理 - バリエーションデータ作成〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔汎用データ作成 - 商品管理 - 荷姿データ作成〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔汎用データ作成 - 仕入管理〕メニューの各メニュー

〔汎用データ作成 - 在庫管理〕メニューの各メニュー（〔実地棚卸〕メニュー・〔在庫残高〕メニューを除く）

〔汎用データ作成 - 債務処理〕メニューの各メニュー（〔支払情報〕メニューを除く）

〔条件設定〕画面で指定する「固定位置」を画面上でも指定できる機能を追加

一括登録や一括修正をするメニューで、〔条件設定〕画面で設定する「固定位置」を、入力画面上で（ピン）で表示できるようになりました。

画面上で（ピン）を動かして、固定位置を変更できます。

また、画面上で変更した固定位置は前回条件として保存・復元されます。

対応メニュー

〔法人情報 - 規程 - 仕入管理補助科目〕メニュー

〔法人情報 - 規程 - 仕入取引〕メニュー

〔法人情報 - 規程 - 在庫取引〕メニュー

〔法人情報 - 規程 - 支払方法〕メニュー

〔法人情報 - プロジェクト - プロジェクト〕メニュー

〔法人情報 - 担当者 - 担当者〕メニュー

〔法人情報 - 倉庫 - 倉庫〕メニュー

〔取引先管理 - 仕入先 - 仕入先〕メニュー

〔取引先管理 - 仕入先 - 精算締日〕メニュー

〔取引先管理 - 得意先 - 得意先〕メニュー

〔取引先管理 - 直送先 - 直送先〕メニュー

〔商品管理 - 商品 - 商品〕メニュー

〔商品管理 - 商品 - 構成品〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

〔商品管理 - 商品 - セット商品〕メニュー

画面の色合い（行の交互色）の濃淡の設定に対応

交互色の濃淡を 3 段階から選択できるようになりました。

この設定は、〔支払予定表〕メニューや〔銀行振込一覧表〕メニューなど、交互色を使用しているすべての帳票（一覧表）に反映されます。

今回の機能追加に伴い、今までより濃い色合いの「標準」が初期設定として選択されています。

表示変更

フォント変更

フォント一覧

メイリオ

Arial

Bahnschrift

Calibri

Cambria

プレビュー

Aaああアア亜宇

123,456

行の交互色

☐ やや薄い

☒ 標準

☐ やや濃い

コード	部門名
1	東京支店
2	名古屋支店
3	大阪支店

ファンクションキーの配置

☒ 下配置

☐ 上配置

スクロール量

☒ Windowsの「マウスホイールでスクロールする量」を反映する

[マウス設定](#)

OK

キャンセル

対応メニュー

メインメニュー右上の（個人設定）から「表示」メニュー

内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。